

「我が国金融・資本市場の国際化について」

大和総研 打越俊一

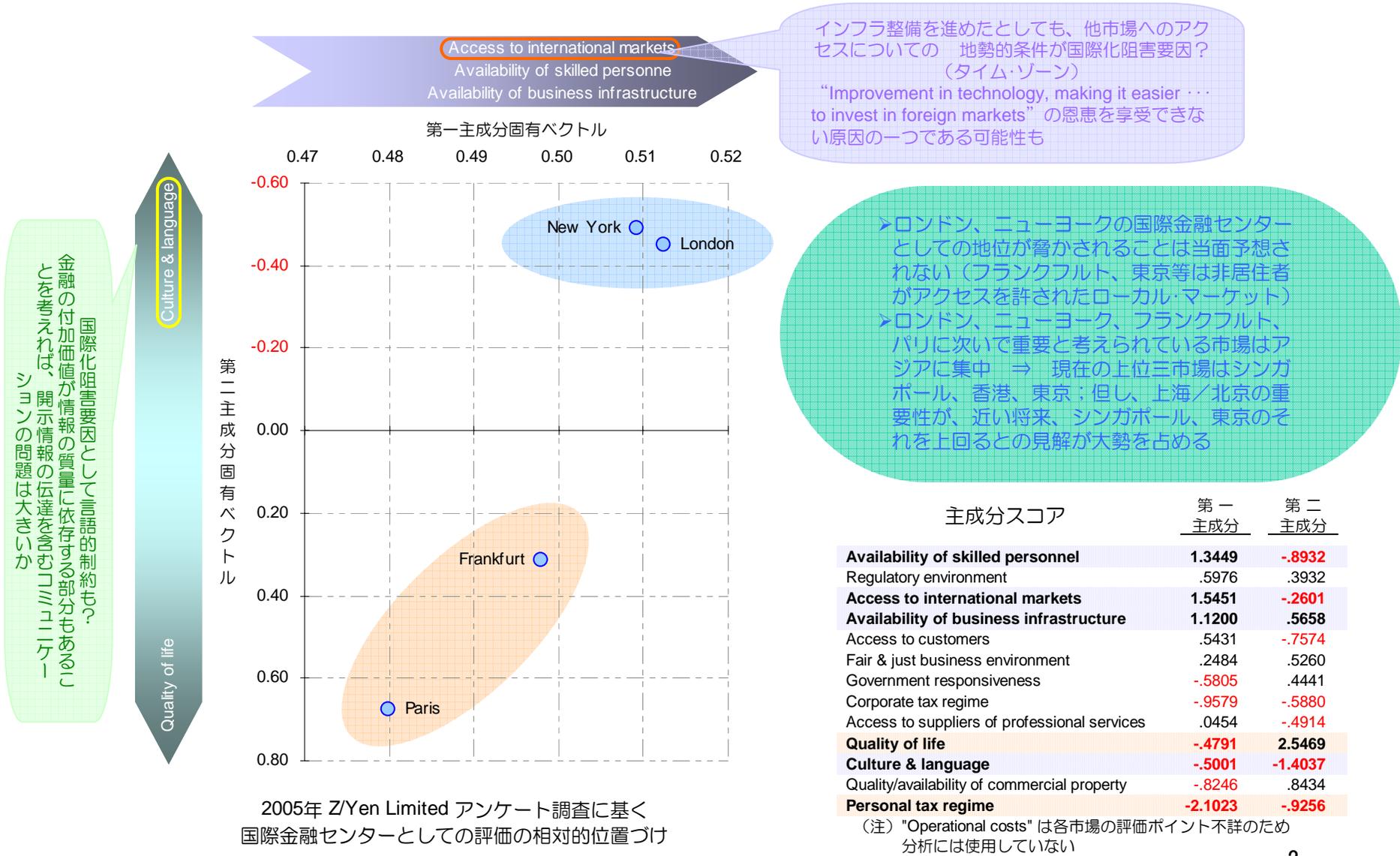
2007年2月16日

わが国金融・資本市場の目指す方向について

- 静態的には、日本は所謂、グローバルな国際金融センターとしての要件を満たしていない
→ 構造的ローカル市場体質(資料 I 参照)
- 現状は、BRICsの台頭、イスラム金融の拡大等で、NY,LND集中から、グローバル多極分散型への動き
→ 米国でもNYの競争力の低下が課題(資料 II 参照)
- 日本金融・資本市場の目指す方向
→ 日本は強い産業基盤と豊かな金融資本それに高度な知的財産をセットで有し、世界の成長の中心たるアジアとは地政学的に近いという優位な位置を占める
→ 日本の国際金融センターとしての役割は、この日本の強みを生かし、人材、システム、法制度、コンプライアンスなどを整備していくことで魅力を高め、日本を含むアジアの金融・資本市場と経済の発展に貢献していくこと

(資料 I)

The Competitive Position of London as a Global Financial Center
(Corporation of London, November 2005)



(資料 Ⅱ)

Interim Report of the Committee on Capital Markets Regulation
(November 30, 2006)

Why is the U.S. Public Equity Capital Market Losing Competitiveness?

Four factors responsible for loss of competitiveness:

- ✓ An increase in the integrity of and trust in major foreign public markets resulting from more transparency and better disclosure;
- ✓ A relative increase in the liquidity of foreign and private markets, thus making it less necessary to go to the U.S. public equity capital markets for funding;
- ✓ Improvements in technology, making it easier for U.S. investors to invest in foreign markets;
- ✓ Differences in the legal rules governing the U.S. public markets and the foreign and private alternatives

There is little public policy can do to reverse the impact of the first three factors.

Specific Recommendation:
Loosen Capital Controls

国際金融センターとしての魅力向上策(その1)

1. 特に、(B)RICs市場の金融・資本調達の担い手となる

- ◎東京市場での運用・調達力の拡大・・・①アジア債券、投資信託、ETF、ファンド、指数先物など多様な商品の開発と提供、②欧米資本の中継機能の強化
- ◎(B)RICsの国情(政治・経済・産業・企業・法制度など)に関する投資リスク、リターンの分析・情報開示の促進による投資妙味の創出・・・証券・投資銀行、情報サービス会社、コンサルタント会社などの役割？
- ◎リスクテイク等の促進・・・債券レーティング、債券担保、株式レーティング等による透明性、客観性の担保
- ◎顧客開拓・スキーム提供・・・証券、投資銀行によるグローバル営業体制の推進

2. わが国の海外金融・資本の流動性を高める

- ◎市場ルールの国際標準の遵守・・・開示、取引等における透明、公正、健全性を確保した信頼性の高揚
- ◎グローバル取引の活性化・・・夜間取引、東証の海外取引所との提携
- ◎一段の規制緩和・・・401K制度の拡充、私設取引所の開設、ETF規制緩和、オフショア活用の再検討

国際金融センターとしての魅力向上策(その2)

3. 国内企業のグローバル化に伴う資金需要の支援促進

- ◎大手企業に対する支援・・・通貨変動リスクの調整、多国籍化に伴うファイナンス機能提供。
クロスボーダーMA、海外進出企業・事業に対する保険、リース等のトータル金融機能
- ◎地域企業に対する支援・・・私募債、私募投信、ファンド、証券化等のスキーム活用。増資等の資金調達
- ◎MA機能の拡充・・・三角合併の本格導入

4. その他

- ◎人材育成・・・証券アナリスト、ファンドマネージャー、投資家教育、外国人留生活活用、産学連携、専門家の語学力向上など
- ◎システムの信頼性向上・・・処理能力、バックボーンの強化
- ◎法制度・コンプライアンス・・・資本市場の透明性、信頼性向上
- ◎金融特区の活用